

第5回 江戸川区立図書館基本計画検討委員会 議事録要旨

日時：令和6年2月6日（火）

午後2時00分～4時12分

場所：江戸川区立中央図書館 視聴覚ホール

1 開会

2 報告

(1) 意見募集の結果について

・本計画に関する意見募集の結果について安田（健）委員より説明。

・委員による意見交換

<各委員の主な意見>

- 相場がどのくらいかはわからないが、47名110件という意見は少ないように思えた。もっと区民に関心を持ってほしいという計画案だとすれば、満足のいくものだったとは思えない。意見を募集していますというチラシ1枚だけでも、小学校、幼稚園、保育園などを通して配ってみても良かったのではないかな。
- 意見（9番）については施設ごとの設置根拠を明示してはどうか。
- 意見（28番）については、量によるが、雑誌の付録等からの収益、募金のようなことも考えられる。図書館に足を運ぶきっかけにもなるイベントのようなもので計画できるのであればよいのでは。
- 意見（83番）の専門職員採用については、給与を一定程度保障し、指定管理者と密に連携をとるしかないのではないかな。
- 意見（89番）について、名称が変わってもこの計画がどう進行していくのかを継続的に話しあう場があっても良いと思う。
- 意見（90番）に「教育委員会との連携を明確にする」とある。読書科、調べる学習コンクールの実施や、団体貸出の充実で今もかなり進んできていると思うが、公共図書館と学校図書館のバーコードの共通化などが進めばさらに良いのではないかな。

3 議事

(1) 基本計画の策定に向けて

・江戸川区立図書館基本計画（案）にもとづき安田（健）委員より説明。

・委員による意見交換

<各委員の主な意見>

- 「図書館の配置」のマップで、「図書館」（中央図書館、地域図書館、コミュニティ図書館）を3色に分類してはどうか。
- 「学校図書館との連携」の項目について、学校図書館の運営支援、蔵書管理システムの構築も重要なので、それをもう少しふくらませて書くとか、公共図書館で収集した資料を学校図書館に提供していると思うので、そのあたりを書いたほうが良いと思う。
- サテライトを増やしていくにあたり、小中学校にこだわらず、計画の中で広がりを見せるなら、「学校図書館との連携」の項目に入れなくても良いのではないか。
- 「23 区内での位置」で言いたいことは順位なのか。むしろ、図書館数とか、どれくらい皆さんが利用しているかを、区民に知ってほしいと思う。括弧書きの数字（館数など）をもっと大きくして順位は少し小さめにするとか、記載の順番を逆にしてもいいのではないか。また、細かい数字が書いてあるが、「約 150 万冊」とか、アバウトな数字にしても良いと思う。それから、単位は「点」か「冊」のどちらかに統一したほうが良い。
- 「図書館を利用しない理由」について、15 歳以下の「時間がない」の数値が高い。小学校が終わるのが午後 3 時半くらいで、だいたい 5 時には家に帰りましょうとなっているので、子どもが図書館まで出向いて本を借りている時間がないというのはあると思う。団体貸出で借りている本などはしっかり読んでいる。「読みたい本がない」という意見は、例えば朝読書ではライトノベル系などの本もかなりあるが、そういった本が図書館にあるのかという情報が、子どもに届いていないのかなと思う。学校で公共図書館からお借りしている本は、教員が選定しているので、読ませたい本が中心になる。子ども自身が公共図書館に借りたい本を申し込めて、それが学校図書館に届くような形になれば、すごく本が身近になるのではないかなと考えている。
- 学校図書館や家の本も全部読んだが、図書館が遠くて子どもだけで借りに行けない子や、本の検索ができることを知らない子が多い。学校のタブレットで図書館の予約・貸出などのページにわかりやすく行けるように設定して、学校で受け取れる形にするだけでも、高学年の子であればどんどん本を借りて、読みたがる子が多いと思う。学校に行くついでに図書館の本が借りられて、家に持って帰れるのが一番読書の幅が広がると思う。
- 生徒たちに配られているタブレットで図書館の電子書籍を読むことができるというようなことをしている自治体もある。今後検討事項として考える必要があるのではないか。
- 「図書館へのニーズ」の中で、「全体のニーズ」の項目に「従来の図書館サービスと新しい機能の両方を求める声」とあるが、そこに示されている内容が、おそらく従来の図書館サービスしか書いていない。この書き方だと新しい機能と書いてあるものの、特に新しいことを求めているように見えてしまう。

- 空間のことで、例えば「ここでは静かにしてください」とか貼り紙があったりすると、ルールなどに縛られた感じがする。シュタイナー建築に詳しい方から、子どもたちが自然と静かにいられる空間のつくり方があると聞いたことがあって、そういったことも、今後の参考になるかなと思う。
- 計画案の中の「取り入れていきます」という表現はわかりにくいと思う。「施設・設備については、可能なタイミングで整備していきます」とか、「整備が可能な範囲で実施していきます」としたほうがわかりやすいのではないか。
- 「探求的学習」の「求」は教育界ではたいてい「究」を使うので変えたほうがよいと思う。
- 学童クラブ（すくすくスクール）にかなりの数の子どもたちが行っている。そういうところで出前読み聞かせやブックトークなどのイベントを組んでいただけたら、子どもたちも喜ぶのではないか。
- 職場体験（チャレンジ・ザ・ドリーム）で図書館に来た中学生に司書養成講座みたいなものをしていただけたら、子どもたちの活動も増えていくのではないか。
- 区立図書館員による学校図書館の運営支援に、蔵書選定の支援を入れてほしい。例えば、公共図書館ではこういう児童書の貸出が伸びているとか、調べる学習の図書はこういうものを用意したらどうかというような助言を、今もいただいているが、さらに支援いただければと思う。
- 対面朗読のサービス（対面で本を読み上げるサービス）を、視覚障害者に限らず、外国人の親御さんを持つお子さんや読みたくても読めない人に広げてはどうか。おはなし会などもあると思うが、今この本が読みたいというときに、叶えてあげられるのが、お子さんなどにとっては良いのかなと思う。
- 用語集に載っている単語すべてに用語集のこのページにありますというような文言を入れてもらえると助かる。

- ・以上をもって、検討委員会より本計画案は了承された。意見交換の内容にもとづき修正を行い、さらに調整が必要な場合は、委員会を代表して委員長が確認した上で、本計画を策定する。

4 事務局からの説明

- ・今後の本計画策定と公開の流れについて事務局より説明。

5 閉会

- ・岡部委員より挨拶。
- ・大串委員長より挨拶。



議事の様子

□委員構成

学識経験者	2名
書店関係者	1名
学校関係者	2名
地域関係者	4名
江戸川区民	4名
江戸川区職員	3名
図書館職員	2名

オンラインによる出席 1名（学識経験者）

欠席 5名（書店関係者1名、地域関係者2名、江戸川区民2名）

□傍聴者 9名

□配付資料

【資料1】「(仮称)江戸川区立図書館基本計画(案)」の意見募集結果について

【資料2】江戸川区立図書館基本計画(案)